

米国学術研究の動向

エネルギー省、MHK 技術促進を目標とした助成を計画（3月21日）

エネルギー省（Department of Energy）は3月21日、米国の海洋流体力学（Marine and Hydrokinetic : MHK）技術促進を目的とした助成機会「海洋流体力学研究開発大学コンソーシアム（Marine and Hydrokinetic (MHK) Research and Development University Consortium）」を公示した。応募に当たって大学コンソーシアムは、以下のような分野における研究開発能力及び専門性を有することを証明しなければならない。

- ・活発な海洋環境におけるデバイスおよびアレイの運用管理のためのロジスティクス開発
- ・効率的な高忠実度の資源特性化及びモデリング技術の開発・検証
- ・分散アプリケーションのためのデバイスの開発・技術経済研究
- ・アレイの有効化に必要な部品技術開発
- ・アレイ性能試験及び評価
- ・活発な海洋環境で使用する費用効率の良い新たな環境観測技術及び計器の水中試験及び評価

なお、本助成機会の詳細は、

<<https://eere-exchange.energy.gov/#FoaIdb7d33579-bedf-4404-9e72-c6adbb4c5342>>から閲覧可能。

US Department of Energy, Upcoming Funding Opportunity for Marine and Hydrokinetic Development University Consortium

<http://www.energy.gov/eere/water/articles/upcoming-funding-opportunity-marine-and-hydrokinetic-development-university>